

松波小学校だより

第2号
令和7年5月30日
能登町立松波小学校

頑張る松波っ子！

季節の移ろいは早いもので、早くも梅雨の便りが聞かれる時期となりました。平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

4月には授業参観・PTA総会・学級懇談、5月には運動会と、多くの学校行事がございました。保護者の皆様にはお忙しい中ご参加・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。改めて深く感謝申し上げます。

新年度が始まってからの2か月間、子どもたちは新しい担任との関係を築き、環境に慣れる中で、目には見えにくい部分でも大きく成長しています。教室では、活発に意見を交わしたり、真剣な表情で課題に取り組んだりする姿が見られ、学びに向かう意欲が着実に育まれていることを日々感じております。

ここで、これまでの子どもたちの様子から、特に印象的だった2つの取り組みについてご紹介いたします。

まず一つ目は、運動会についてです。新しい学年・学級での生活が始まって間もない中の開催となりましたが、PTA役員・会員の皆様の温かいご支援のもと、無事に実施することができました。今年は、これまでの4団制（赤・青・黄・緑）から、赤団・青団の2団制に変更しての実施でした。スローガンは、赤団が「赤団進め！分かち合え！みんなの力でチャレンジだ！」、青団が「今日の主役は青団だ！協力！全力！絶対優勝！」と、それぞれの団が一致団結して臨みました。子どもたちはどの競技においても、スタートからゴールまで諦めることなく全力を尽くして取り組んでいました。特に6年生は、リーダーとして下級生をしっかりとサポートし、準備や片付けも率先して行ってくれました。その姿は、保護者や地域の皆様にも感動と元気を届けられたことと思います。



二つ目は、あいさつの質がより高まったことです。本校の児童はもともとあいさつがよくできていましたが、4月の生活目標として取り組んだことにより、さらに丁寧なあいさつが見られるようになりました。「○○先生、おはようございます！」「○○先生、こんにちは！」と、相手の名前を呼んであいさつする児童も増え、毎朝玄関で交わすあいさつに、元気をもらっています。

保護者・地域の皆様、1学期も残り1か月半となりました。今後も、子どもたちが安心して学び、成長できる環境を整えてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長 宮本 秀人